

議事録

日 時	令和5年1月19日(木)	時 間	13:30~15:30
場 所	千葉県企業局 幕張庁舎2階 特別会議室 (web会議併用)	出席者	(懇話会メンバー) 鎌田座長、小松崎副座長) 外11名 (企業局) 山口管理部長、岩船水道部長、渡辺水道部次長、密本水道部次長、新田業務振興課長、望月計画課長、小林浄水課長、佐藤給水課長、その他職員、事務局職員
議事名	第4回おいしい水懇話会		
<p>○開会</p> <p>○懇話会の公開について</p> <p>○配布資料の確認</p> <p>○懇話会メンバー、局職員紹介</p> <p>○管理部長挨拶</p> <p>○座長挨拶</p> <p>○議題1 技術的な取組</p> <p>資料(p3-11)により、水源及び浄水の水質管理について事務局から説明。 主な意見、質疑は以下のとおり。</p> <p>(懇話会メンバー) 浄水場の各浄水処理工程で水質がどのように変化していくか、データを見たことがなかったのでとても面白いと思ったが、このデータについては公開されているのか。また、水源の水質検査結果については公開されているのか。その測定頻度はどのくらいか。</p> <p>(企業局) 浄水場の各浄水処理工程の水質データについては公開していない。水源の水質検査結果については公開しており、企業局のホームページから閲覧可能である。測定頻度については水質項目によって異なり、毎月測定する項目や3か月に1回測定する項目がある。</p> <p>(懇話会メンバー) 水を使う立場として水質事故を非常に心配しているところだが、広域的な情報連絡体制ができていることがわかり安心した。その中で、夜間の連絡体制はどのようになっているのか。また、例えば油が漏れた場合、取水場で連続的に測定していて検知できるようになっているのか、あるいは1日何回か測定して把握しているのか。</p> <p>(企業局) 夜間についても広域的な連絡体制は整備されている。油については取水場によるが、油分計が設置してあり検知可能である。実際に油が流出した場合は、前段で河川管理者がオイルマットやオイルフェンスを設置して、川になるべく油が流れないようにしている。</p>			

議事録

それでも一部流れてきた場合、活性炭の増量等で対応している。

(懇話会メンバー) 上流で水質の異常値が出た場合、千葉県まで流れるのに乖離があると思うが、いつの時点で現場を確認するのか決まっているのか。

(企業局) 流量を入力すると、任意の地点で上流からいつ到達するかわかる表が事前に作成されているので、この表を参考に到達時間を予測し現場を確認している。

(懇話会メンバー) 浄水場の日報を見せてもらったが、このデータは電子的に管理されているのか。

(企業局) 日報はエクセルで作成し、管理している。

資料(p12)により、残留塩素の低減化について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) 成田給水場の設備の更新により低減化ができるということだが、その結果はいつ頃出てくるのか。

(企業局) 来年度実施予定の低減化試験の結果次第だが、うまくいけばその翌年度に低減するので、一番早ければ2年後に結果が出てくることになる。

○議題2 お客様との取組

資料(p13-17)により、水質検査体験の実施報告について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) 簡易水質検査キットが今デジタルで測定できるようになっていて、スマホアプリもできているので、簡易水質検査キットを作っている会社とコラボレーションしても面白いと思った。また従来の、色を見比べて大体の値を読む方法とデジタルとで使い勝手を懇話会メンバーに試してもらった上で実施してみるのも面白いと思った。年配の方は難しいかもしれないが、若い人はデジタルの方が正確な数値が出てくると思うので、ご検討いただきたい。

(企業局) 簡易水質検査キットのデジタル測定について調べてみたい。

(懇話会メンバー) 水質検査体験の測定項目が残留塩素、pH、硬度で、おいしい水検定にも硬度や残留塩素についての問題があるので、解答欄に自分でも確かめられるという形で水質検査体験のPRをするのはどうかと思った。

(企業局) 水質検査体験とおいしい水検定でお互いにPRしていくということで、検討したい。

資料(p18-22)により、おいしい水検定の実施報告について事務局から説明。

主な意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) 折りたたみボトルを使った感想を集めてみたらどうかと思った。私はまだ使っていないので、これから暑くなってきたら使ってみて感想を述べたいと思う。

(企業局) 次回懇話会等で感想をいただければありがたい。

議事録

(懇話会メンバー) おいしい水検定の問題だが、解答が四択で、一つは正解、一つは迷う、二つは違うとわかる問題が多かったと思う。そうすると、三択問題の方が簡単に楽しめるのではないかと思った。また、問題にあった「コップ 1 杯分の牛乳を川などに捨てたら水源を汚す原因となります。その水をきれいにするためにはお風呂何杯分の水が必要か」というような話をテレビなどでも度々目にする。こう言われると牛乳を下水に流してはいけないという印象を持つが、仮に牛乳を捨てなければいけない場合、生ごみとして捨てると今度は焼却場の温度を下げてしまうので良くないという話も聞いて、どうすればいいかいつも迷っている。どうしたらいいか併せて書いてもらいたいと思った。あと、県営水道のポスターを街中で見ることがあるので、QR コードを付けて、おいしい水検定や水質検査体験の募集を通年でやってみたらどうかと思った。

(企業局) 問題の選択肢を三択にするかどうかについては、参考にさせていただく。牛乳を捨てられなくなるという話については、問題の表現としては下水などにつながらず「そのまま川などに捨ててしまうと」となっているが、下水に接続していれば処理はできるので、解説でそのような案内を入れたいと思う。ポスターに QR コードを付けることについても、現在はメールマガジン等の発信が主なので、参考にさせていただく。

(懇話会メンバー) おいしい水検定を解くときに、解説や解答をその場で確認することができるとすっきりすると思った。また、受検者を募集するところで、対象者が給水区域にお住まいの方とあるが、自分が給水区域に住んでいるかわからない方がいると思うので、具体的に何市とあればわかりやすいと思った。

(企業局) 解説、解答がすぐ見られるとすっきりするという点について、現状システム上厳しいが、検討していきたい。給水区域については募集ページで確認できるような案内ができるよう検討する。

(懇話会メンバー) おいしい水検定を初回と今回と 2 回受検したが、初回は問題量が多くて調べながらやったため 25～30 分くらいかかったが、今回はすぐに解答のサイトがあって調べやすかったので、非常に取り組みやすかった。時間もそれほどかからず自分で解答を自分の中でちゃんと認識できたので、すごくいい問題だと思った。途中でほっと一息つけるような問題もあり、出題者の印象がすごくよくなった。解く度に認識が深まるので何度も解きたくなった。

(企業局) そういってもらえるとありがたい。今回時間はどのくらいかかったか。

(懇話会メンバー) 10 分くらいだった。

(企業局) 参考にさせていただく。

(懇話会メンバー) 自分の住んでいるところがどの給水区域であったりどの浄水場からきているかなかなか調べられないので、クイズ等で調べることができれば、自分の家の水道水がどの浄水場からきているか認識してもらえるとと思った。せっかく低減化の取組等しているので、自分のエリアが今低減化の対象であるといったこと等、もう少し広く認識してもらえるとと思った。

(企業局) そのような発想はなかったので、検討させていただく。

議事録

(懇話会メンバー) 検定で出題数について記載はあったが、所要時間が大体どのくらいかわかると取り組みやすいと思った。検定と言われると時間がかかるかなと思ってしまうので、目安があった方がよいと思った。

(企業局) どのくらい時間がかかるかわからなかったなので、参考までにどのくらいかかったか。

(懇話会メンバー) 私も 10 分くらいだった。

(企業局) 次回からは所要時間を入れたいと思う。

(懇話会メンバー) 検定は前は知ってるはずなのに難しいなと思ったが、今回の方が取り組みやすく、ヒントがあつてよかった。所要時間について、30 分かかるとなるとやめところかなと思ったりするので、大体の時間を書いてもらったらやりやすいと思う。検定に参加することで、知識の定着につながるので、工夫されていてよいと思った。水質検査体験で年齢層の若い人が増えていることについて、小学生の夏休みの自由研究は悩むところなので、県水だよりの一言が良かったのだろうと思った、子どもの頃やったことは結構覚えていると思うので、子どもに向けてというのはとてもいいことだと思う。

(企業局) また次回に活かしていきたい。

(懇話会メンバー) おいしい水検定の目的に書かれている「水道水の理解を深めていただく」ということで、間口を広げていくということだと考えると、今回くらいの問題のレベルがちょうど取り組みやすいと思ったが、一方でもう少し要望が増えてくるようであれば、マニアックな問題をいれるのもいいのではと感じた。

(企業局) レベル分けということで、参考にさせていただく。

(懇話会メンバー) 子どもは検定というと 100 点を取りたいみたいなので、ヒントを見ながら自分で答えを見て問題を解くというのが充実感を感じるようなのでよかったと思う。折りたたみボトルについては、昨年検定でもらったものを使ったら、子どもが使って底を擦ってしまったのか、傷が入って水漏れするようになってしまった。使い方に問題があったとは思いますが、子どもが使用することを考えると、折りたたむのもいいと思うが、丈夫さも工夫していただけると親として助かると感じた。

(企業局) ご意見を参考に、できるところを再検討していきたい。

(懇話会メンバー) 検定の問題について、アンケートの内容に絡めた問題を作ってはどうかと思った。例えば、「水道水の安全性に不安がある理由」で「いろいろな薬品が使われていると思うから」という項目があるが、その色々な薬品は安全なんだということを解答に盛り込むような問題があるといいと思った。

(企業局) アンケート結果で不安を感じているところをヒントに問題作成していくということで、考えてみたい。

○議題3 その他

令和5年3月25日に開催予定の桜の季節見学会の紹介について事務局から説明。

議事録

全体を通しての意見、質疑は以下のとおり。

(懇話会メンバー) 直接おいしい水とは関係ないが、以前東日本大震災の時に、電気ガス水道の公共インフラの中で水道の復旧が一番最後だったという風に聞いているが、その後水道管の更新は進んでいるのか。

(企業局) 管路の更新について、老朽度や重要度を勘案し、千葉県営水道事業中期経営計画において、小中口径管は5年間で400km更新する計画で耐震化を進めている。管路の耐震化率については令和7年度までに30%まで向上させることを目標に、現在実施している。

(企業局) 補足すると、災害時に特に臨海部の災害拠点病院で実際水が使えなくなったということで、臨海部の管路や、病院等の重要な施設に接続している管路の耐震化を一生懸命取り組んでいる。また、停電に対する対応が非常に重要になるので、停電時でも72時間は稼働できるように、非常用自家発電設備の強化に取り組んでいる。

(懇話会メンバー) 本日の議題1は懇話会メンバーが知らないような話だったと思うので、ちゃんと安全の管理ができていているということを理解してもらうにはいい題材だったと思う。おいしい水の話とはかけ離れてしまうかもしれないが、管路の耐震や更新の話も少し入れてもいいのかなと思うので、検討いただきたい。

(企業局) 承知した。

○管理部長挨拶

○連絡事項・閉会

以上